

介護・福祉

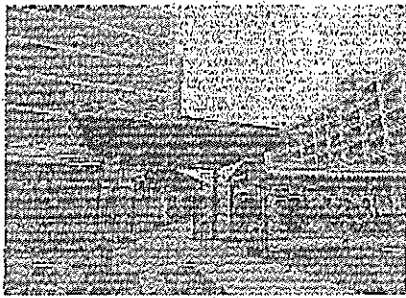
第8回 高級老人ホーム「親和源」

今回は中国初の会員制高齢者専用レジデンス「親和源」をご紹介します。

上海市で初めての会員制高齢者専用レジデンス(親和源老人ホーム)が2010年、上海市南匯区康橋に登場しました。

「尊厳と世代間の親和」をテーマに江南の自然と風土を活かした生活空間を提案し、日本の環境技術によって「水」と「緑」が溢れる豊かな生態環境を整備しています。

さらに先進的な医療・介護サービス(決して十分ではありませんが)の提供でシニアなデザインにより、豊かな人生の充足感を得ることが出来るようにという設計者の願い



上海市南匯区康橋の「親和源」

が込められています。

この老人ホームには17棟のマンションがあり、それぞれ高層高層専用住宅、スバ、病院、カルチャー、飲食商業施設となっており、各部屋には緊急ボタンが付いており、管理者と連絡が出来、生活上の問題が迅速に解決出来るようになっています。

また敷地内には病院もあるため、定期的に健康検査を受け、医療面からも入居者をしっかりとサポートするといえます。もしメンバーが病気となり、自分で生活出来なくなった場合、病院に移動することも可能。この老人ホームは全部で8000名程度の入居する際には入居一時金(45~80万円、5000~11000万円相当)が必要であり、その利用料として2.98~6.98万円/年(30~60万円/年相当)が必要(食費、水光熱費、介護費用は別途料金)。

介護サービスを必要とする方は別途料金(10000~45000円/月、2.5~5.0万円/月相当)の支払いが加わります。高齢な入居者の方のため、入居者は殆どが給付金受給者が

サービスノウハウ、発展途上

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長 松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール

ゲストハウス社長、2007年から高齢者住宅リポートシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア専売会社設立。

らうのも気が引けるので、万が一の時も安心の「親和源」に入居したいといっています。もちろん入居一時金やその他の費用も息子が出されたそうです。私の感想としては入居者の大半が健康者で、介護プロアダーでは遠くまでの状態の方が数多いですが、食費だけ与えてくれるだけの印象で介護やリハビリなどは、不十分な様子でした。

中国では当分の間は健康者向けの老人ホームが主流になるのではないのでしょうか。医療・介護先進国の建築や設備などハード面を真似ることはできますが、介護・医療・リハビリ・サービス面などのソフト部分はまだまだ追いついていないのが現状です。

しかし中国はスピード感が日本の2~3倍速いため、この3年間で中国の高齢者事情は大きく変わって来そうです。日本の医療・介護のノウハウが必死で求められるのは間違いないですね。私もこの2~3年が勝負と見て上海の地で頑張りたいと思います。

	期限	期取り(面積)	入会費	年費費用	設備敷金	
A会員	永久使用権(相続可、譲渡可)	108㎡	89万	6.98万	無	
		70㎡		3.98万		
		58㎡		2.98万		
B会員	入居者なくなるまでの使用権	108㎡	88万	2.98万	無	
		70㎡				55万
		58㎡				45万

(金額の単位は元)

福山で「サービス付き」開設



サービス

鎌倉で複合施設開設

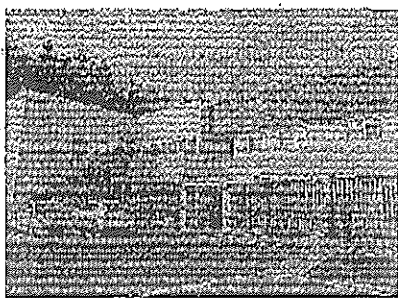
デイ、小規模多機能、GHを併設

伸こう福祉会

ループホームが併設、「クロスハート」十二所、鎌倉は2ユニットのケルブホームと10名定員のデイサービスを併設し、3サービスの複合施設とした。

同施設では共用部分の充実を注力。デイサービスの浴室には静岡県熱海市から運んだ温泉を使用しているほか、施設の中心には中庭を設け、パーキングなどの催しが出来るようにした。グループホームは採光性の高い初となる小規模多機能を横浜市の鎌倉市に同時開業を所望し、掲げられた。

「クロスハート」鶴見。在着サービスから住まいまでの機能を備えたことで、「利用者の状態に応じて多様に利用してもらえ、また地域介護の窓口となるような施設を目指したい」と(原田千代子)施設長)という。なお、今後は来年4月に神奈川県川崎市に200名規模の特別の開設を予定している。



「クロスハート」鎌倉

サービスがあり、必要に応じたケア、岡山県岡山市で在着サービスを提供もサービス付きを開発